

【下諏訪町】校務DX計画

2025年3月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	※留意事項
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	25%	50%	75%	100%	100%	・クラウドツールの未活用やFAXでのやり取り・押印の見直し、不合理な手入力作業の一扫については、校務の効率化・ペーパーレス化の大きな阻害要因になっているものであることに十分留意すること。
	不合理な手入力作業の一扫に取り組んだ学校の割合	25%	50%	75%	100%	100%	
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	25%	50%	75%	100%	100%	
選択項目	4.保護者から学校への提出資料をクラウドサービスを用い、受け付けている学校の割合	50%	75%	75%	100%	100%	・自治体として力を入れたい内容をリストから選択する。 ・選択肢はGIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリストの34項目より作成。自己点検の結果等を踏まえつつ、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題を選択する。
	9.1人1台端末を児童生徒に持ち帰らせ、家庭で利用できるようにしている学校の割合	50%	75%	75%	100%	100%	
	34.「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき生成AIを校務で活用している学校の割合	0%	25%	50%	75%	100%	
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	ライセンス購入費などが高額であり、持続的に環境を整備するための予算確保が課題となっている。					
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	クラウドストレージやフォームを活用した校務のデジタル化やMEXCBT、AIドリルの活用による小テスト等のデジタル化を図ることで、授業準備を含む校務の効率化を検証し、必要なサービスを整備できるよう予算要求に努めていく。					
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	諏訪地域教育用ネットワーク推進会議での現状分析 下諏訪町情報教育委員会における校務DXの実現に向けた計画・検討					